

CASBEE® - 建築(既存)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(既存)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_EB_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	柏の葉 ゲートスクエア ホテル&レジデンス	階数	地上14F
建設地	千葉県柏市	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域、地区計画区域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,集合住宅,	評価の段階	
竣工年	2014年4月 竣工	評価の実施日	2022年11月1日
敷地面積	24,345 m ²	作成者	日建設計総合研究所
建築面積	12,178 m ²	確認日	2023年3月14日
延床面積	23,991 m ²	確認者	日建設計総合研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (230 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 87% (40 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境 (スコア= 3.8)

音環境	3.0
温熱環境	4.4
光・視環境	3.5
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能 (スコア= 3.7)

機能性	3.8
耐用性	3.6
対応性	3.8

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア= 3.5)

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー (スコア= 3.7)

建物外皮の	4.2
自然エネ	3.4
設備システ	3.1
効率的	5.0

LR2 資源・マテリアル (スコア= 3.1)

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.4

LR3 敷地外環境 (スコア= 3.2)

地球温暖化	3.5
地域環境	3.2
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	「柏の葉国際キャンパスタウン構想」のもと、自然と未利用エネルギーの徹底利用、及び、利用者(テナント)や地域と共に低炭素化に取り組む計画とする。	
Q1 室内環境	敷地が鉄道に隣接している等の周辺環境に十分に配慮し、各部の性能を確保することにより快適な執務環境を実現する計画とする。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	適切な日射遮蔽などを行い、断熱強化等により熱負荷を抑制する計画とする。また、自然エネルギーの活用推進を行う計画とする。	LR2 資源・マテリアル
その他	0	
Q3 室外環境(敷地内)	地域の「緑の道」(グリーンアクシス)と、駅前プラザ、西側芝生広場といった緑を中心としたアメニティを提供し、緑化、水景によるヒートアイランド防止や自然通風に適した冷涼な空気を創り出す計画とする。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	ゆとりある階高と天井高、大きな開口などで、郊外型施設の特色ある空間を提供する計画とする。また、維持管理にも十分に配慮した計画とする。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	節水型器具の使用や井水利用などにより水資源の保護に配慮している。また、部材の再利用に配慮した計画とする。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	廃棄物ゼロの資源循環型のまちを目指す計画とする。また、地上緑化、屋上緑化等に努め、温熱環境の改善に寄与する計画とする。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される